保健センターからのお知らせ

鴻巣保健センター（☎543-1561・FAX 543-5749）　吹上保健センター（☎548-6252・FAX 549-2696）

休日当番医・当番薬局の決定と変更について

①一部未定になっていた当番医（内科）の決定

とき／５月６日(振休・月)、９月１日㈰、12月１日㈰
当番医（内科）／北鴻巣クリニック（八幡田531・☎596-1423）
当番薬局／薬局ティーダ北鴻巣店（八幡田532-1・☎595-3688）

②当番医の変更（こうのす共生病院が内科・外科の両方を担当）

とき／３月21日(祝・木)、６月９日㈰、９月23日(祝・月)、12月30日㈪
当番医（内科・外科）／こうのす共生病院（本町6-5-18・☎541-1131）
当番薬局／共創未来鴻巣薬局（本町6-5-7・☎544-2466）

鴻巣薬剤師会 市民セミナー

とき／４月14日㈰ 14時30分～（開場＝14時）
ところ／市民活動センター　　**定員**／80人（先着順）
内容／①講演「後発医薬品（ジェネリック医薬品）は、何が違うのか？」
②講演「みんなで考えよう健康長寿の延伸
～認知症予防に向けた私たちの取り組み～」
講師／①黒澤　章さん（埼玉県薬剤師会常務理事）
②松田　佳和さん（日本薬科大学臨床薬学部門　部門長　教授）
費用／無料
申込み・問い合わせ／３月22日㈮～４月10日㈬の９時～17時に鴻巣保健センター

松田　佳和さん

いきいき健康生活

Q 処方された薬の使用期限について教えてください

A 食べ物や飲み物に賞味期限や消費期限があるように、薬にも使用期限があります。

病院やお医者さんから処方される薬を「医療用医薬品」といいます。医療用医薬品には品目ごとに使用期限があり、多くの薬は開封しなければ３年程度の効果と安全性が確保されています。

医療機関で処方されたお薬には使用期限は明記されていません。処方された薬は、その時に処方日数内で飲みきることが原則です。しかし、頓服薬や長期処方された薬については保管する場合もあるでしょう。使用期限内であっても適切な方法で管理を行わないと有効性や安全性に問題が生じることもあります。

医療用医薬品の使用期間と保管方法について、次のとおり種類別にまとめました。

①錠剤・カプセル・粉薬＝処方日から半年～１年くらい。室温（１℃～30℃）保存で良いものが大部分ですが、湿気により薬の形が崩れたり変色したりすることがあります。乾燥剤を入れた蓋付きの缶などに保管しましょう。

②水剤・シロップ剤＝処方日から１～２週間くらい。蓋を開けて閉める度に混入した雑菌が、薬の糖分や水分によって増殖することがあります。容器を移し替えたりせずに冷蔵庫で保管しましょう。

③点眼薬＝開封後１か月くらい。目薬には防腐剤が添加されているものもありますが万全ではありません。点眼時に容器の先端がまつげやまぶたに接触すると眼脂や涙液が容器内に逆流して汚染されます。

④坐剤＝処方日から半年～１年くらい。坐剤には、冷所保存タイプと常温保存可能なタイプがあります。常温保存可能なタイプは必ずしも冷所保存が必要ではありませんが、真夏の30℃を超えるような環境では室内でも変質する場合がありますので、そのような場合には冷蔵庫で保管するのが良いでしょう。

⑤軟膏・クリーム・ローション剤＝開封後半年くらい。外用剤は容器に使用期限が書かれていますが未開封の場合です（混合してあるものは除く）。高温・直射日光を避けて保存してください。

⑥貼り薬＝開封後１か月くらい。高温・直射日光を避け、開封後は袋の封をしっかり閉めて保管します。

⑦インスリンなどの注射剤＝インスリン製剤の使用期限は冷蔵庫保存で数年程度ありますが、使用開始後は大部分の製剤は室温保存で28日となっています。使用開始時にマジックなどで直接容器に使用期限を書いておくと良いでしょう。

（鴻巣薬剤師会）

【訂正とお詫び】広報かがやき２月号15ページ掲載の「いきいき健康生活」において、次のとおり誤りがありましたので、訂正しお詫びします。（誤）だ液は…細菌が増えるのを迎え　（正）細菌が増えるのを抑え